

## 平成15年度第2回京都市図書館協議会・摘録

○ 日時 平成15年11月20日(木) 午前10時30分～12時

○ 場所 京都市生涯学習総合センター 4階 視聴覚室

○ 出席委員 [10名中9名出席]

太田 亮子 委員

大森 昌之 委員

迫田 照男 委員

島津 吉弘 委員

永井 麻里 委員

林 慈子 委員

原田 憲一 委員

向井 純子 委員

山岡 祐子 委員 (五十音順)

○ 傍聴人数 1名

### 1 開 会

(1) 委員紹介

(2) 梶村中央図書館長からの挨拶

(3) 会長・副会長の選出

会長に向井委員が、副会長に原田委員が選出された

### 2 会議の運営について

・ 会長から、京都市で市民参加推進条例が施行され、市民とのパートナーシップのもと開かれた市政が推進されている中、本協議会としても、市民参加や情報公開の推進に賛同し、開かれた図書館協議会を目指したい旨の就任挨拶。

・ 事務局から、会議の公開について案を提示。

・ 特に異議なく承認され、別紙「会議の公開について」および「傍聴要領」のとおり決定。

### 3 平成15年度主な事業概要について

・ 事務局から以下の項目について資料をもとに説明。

(1) 京・ライブラリーネットの充実

- (2) 地域図書館の夜間・祝日開館の拡充
- (3) 子ども読書活動の振興
- (4) コミュニティプラザ深草図書館
- (5) 右京中央図書館（仮称）

#### 4 意見交換

○ 図書館に関する予算など、他都市などと比較した情報をホームページなどに発信することで、現状が把握でき、より良い意見が出てくると思う。

○ 図書館がこのような事業を行っているのだということをもっと PR してほしい。基本的には図書館に来ないと知ることができない情報も多いので、ホームページなどインターネットをもっと活用して情報発信をしてほしい。また、図書館ツアーのようなものを行って、もっと図書館を身近に感じられるような PR をしていけば利用者も増えるのではないか。

○ 子ども文庫など NPO 団体の情報もホームページに載せていったほうがよい。また、国際都市・観光都市京都にとって観光客も視野に入れていくべき。例えば、観光客が、図書館に行けば、本を借りられなくても京都について正しい情報が手に入るようにするなど。

○ 「京都大百科事典的図書館」の構想があるようだが、現在所蔵している中でも京都について多くの本があると思うので、それらを利用しやすいようデータベース化してほしい。

○ ベストセラー本が何冊あるかなど、各図書館にどんな本が何冊くらい置いてあるのか調べておくことが必要であると思う。また、京都に関する情報が多いのは良いことだが、正確な情報を発信してほしい。

○ 国立国会図書館の本を取寄せて館内閲覧できることなどがあまり知られていないので、そういった情報も利用者に発信してほしい。なお、ホームページで所蔵情報等を載せる際には、著作権について注意したほうがよいと思う。

○ それぞれの地域図書館が特色ある専門図書館となれば、相互に取り寄せて利用できるのもよいと思う。

○ 京都市の図書館はこの10年間で、地域図書館の数も増えていくなど、良い方向で大きく変わってきたが、中央図書館（中規模館）と地域館（小規模館）の配置や役割分担について、今一度整理する必要があると思う。

○ コミュニティプラザ深草図書館について、学校図書館の書籍も増えるので良いことだと思っている。

○ 小さい子どもを連れて、30分以上かけて図書館へ行くのは難しいので、歩いて15分以内のところでは図書を受け渡し窓口ができればよいと思う。

○ 図書館ツアーのようなものを行って、もっと図書館を身近に感じられるようなPRしていけば利用者も増えるのではないか。

#### [事務局]

京都市図書館では多くの京都に関する資料を所蔵しているが、各図書館で分散して所蔵している状況で、京都に関する資料・情報をデータベース化して、一元化していくべきであると考えている。また、資料の収集については、幅広く収書し、利用者のリクエストにもなるべく応えるようにしているが、これから先、収書のことも含めて、各地域図書館がそれぞれの特色・独自性を持って運営するとともに、京都には大学等多くの研究機関が集まっており、そういった図書館と連携しながら資料・情報の収集・提供については分業していくことが大切であると思っている。

## 5 閉 会